

朝日野総合病院 薬剤科紹介

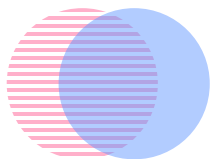


医療法人 朝日野会

朝日野総合病院

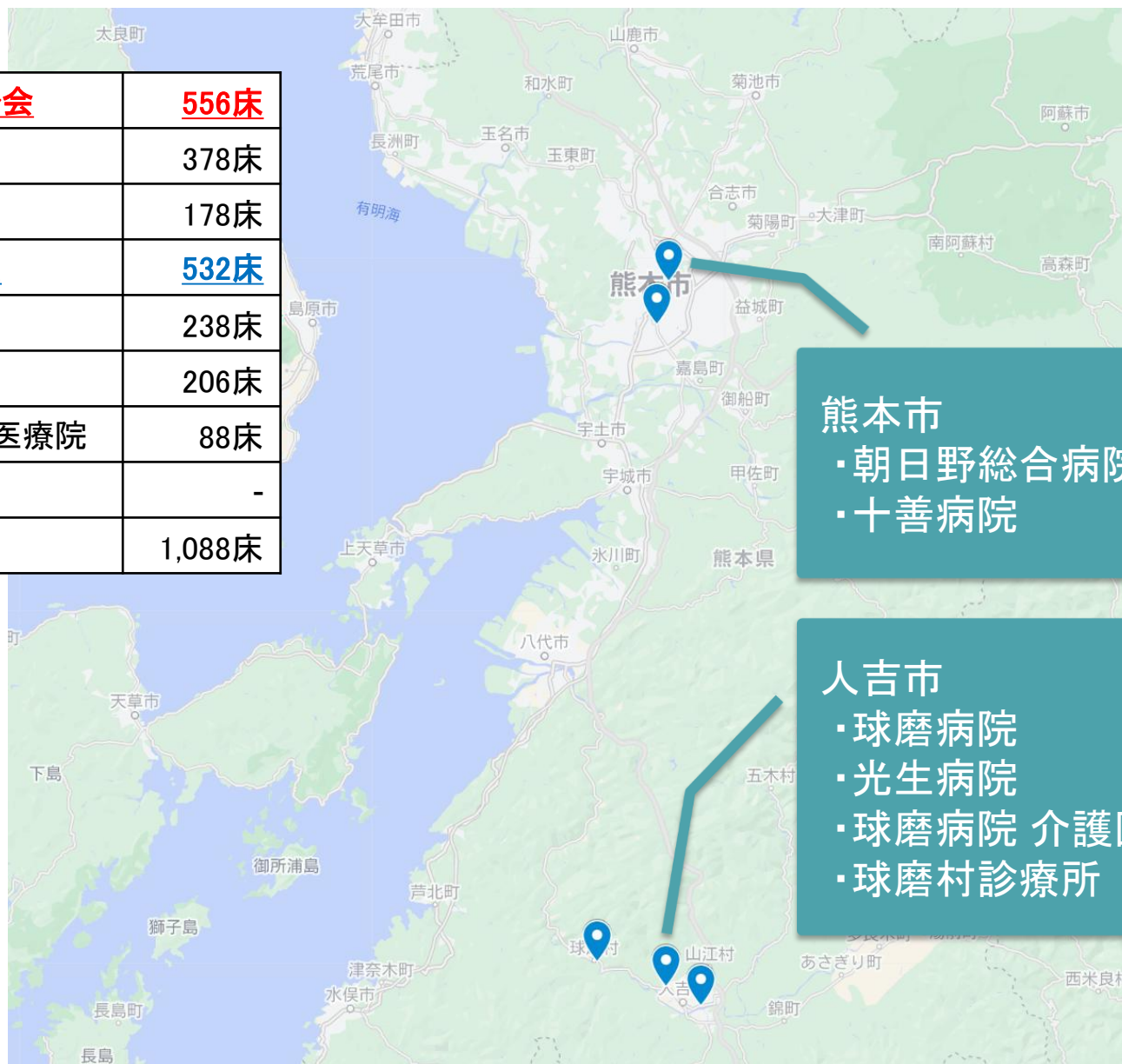


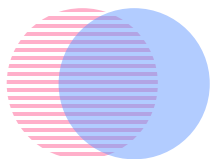
病院HP



朝日野会グループ

医療法人 朝日野会	556床
朝日野総合病院	378床
十善病院	178床
医療法人 蘇春堂	532床
球磨病院	238床
光生病院	206床
球磨病院 介護医療院	88床
球磨村診療所	-
グループ合計	1,088床



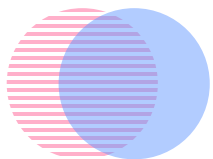


朝日野総合病院診療科目

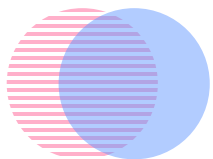
- ✓ 内科
- ✓ 呼吸器内科
- ✓ 糖尿病・代謝内科
- ✓ 消化器内科
- ✓ 循環器内科
- ✓ 血管外科
- ✓ 心臓血管外科
- ✓ 神経内科
- ✓ 心療内科
- ✓ ペインクリニック内科
- ✓ 外科
- ✓ 整形外科
- ✓ リウマチ科
- ✓ 消化器外科
- ✓ 脳神経外科
- ✓ 肛門外科
- ✓ 乳腺
- ✓ 内分泌外科
- ✓ 小児外科
- ✓ 呼吸器外科
- ✓ 皮膚科
- ✓ 形成外科
- ✓ 泌尿器科
- ✓ 人工透析内科
- ✓ 腎臓内科
- ✓ 婦人科
- ✓ 眼科
- ✓ 耳鼻咽喉科
- ✓ リハビリテーション科
- ✓ 放射線科
- ✓ 麻酔科
- ✓ 救急科
- ✓ 歯科
- ✓ 小児歯科
- ✓ 歯科口腔外科

全34科

総合病院であり、多くの
診療科を有している



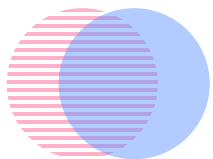
- スタッフ数 (2025年7月現在)
 - 薬剤師 23名 (常勤19名、非常勤4名)
新入職薬剤師数 令和5年度:1名、令和7年度:2名
 - 調剤テクニシャン 4名
- 処方箋数:入院3,400枚/月 外来3,600枚/月
- 院外処方箋率:約3%
- 薬剤管理指導:700件/月
- 無菌調製・抗がん剤調製:50件/月



薬剤科の1日

時間	調剤	病棟・その他
8:30	朝礼	
8:45	外来調剤・注射調剤	病棟活動
	外来調剤対応がメインとなる 入院患者の調剤も行っている	持参薬鑑別や処方内容の確認、 退院指導などを行っている
12:00	昼食	
13:00	調剤業務、各種委員会への出席	
14:00	入院・注射調剤、無菌調製	病棟活動
	調剤室の中での役割は、 ローテーションを組み、1週間ごと に交代で行っている	新規入院の方の初回指導を はじめとして、薬剤管理指導を 行っている
17:30	終礼	
18:00	遅番対応、退勤（18:00以降はオンコール担当が対応）	

2023年8月より、一般病棟だけでなく、地域包括ケア病棟と回復期リハ病棟でも薬剤師が常駐となりました。



病院薬剤師業務

外来業務

処方調剤

服薬指導

外来化学療法

薬剤師外来

入院業務

処方調剤

注射調剤

持参薬鑑別

無菌調製

薬剤管理指導

病棟薬剤業務

情報・管理・他

医薬品情報

医薬品管理

TDM

治験管理

院内製剤

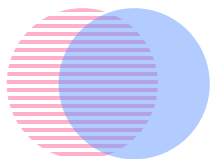
疑義照会

プレアボイド

副作用報告

チーム医療

- ・骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS)
- ・感染対策チーム(ICU)
- ・せん妄対策チーム等



調剤・監査支援

調剤機器

- ・錠剤自動分包機
- ・散剤自動分包機
- ・軟膏練合機械

監査支援

- ・調剤支援システム (F-wave)
- ・PTP監査支援システム (Peech)



F-wave

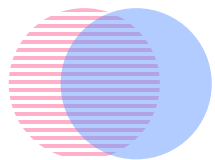
薬のバーコードを読み取りながら集薬する



Peech

薬の写真撮影とバーコード認証を同時に行う





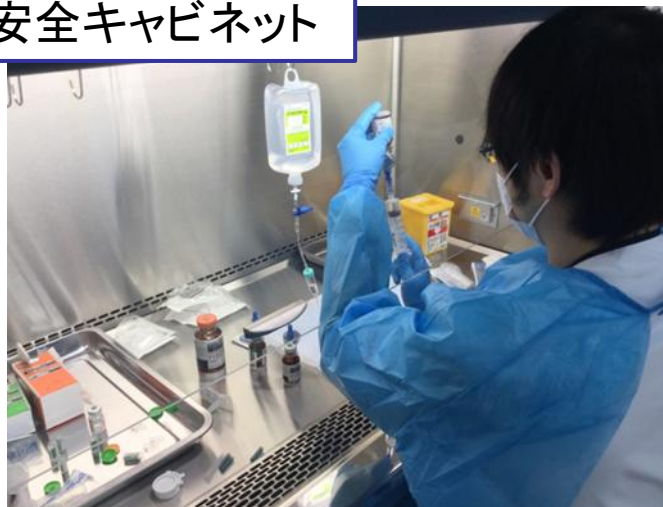
がん化学療法 プロトコール管理・無菌調製

複雑化するがん化学療法を確実にかつ安全に遂行する

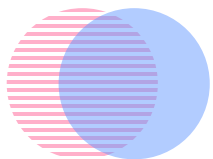
閉鎖式調製器具



安全キャビネット

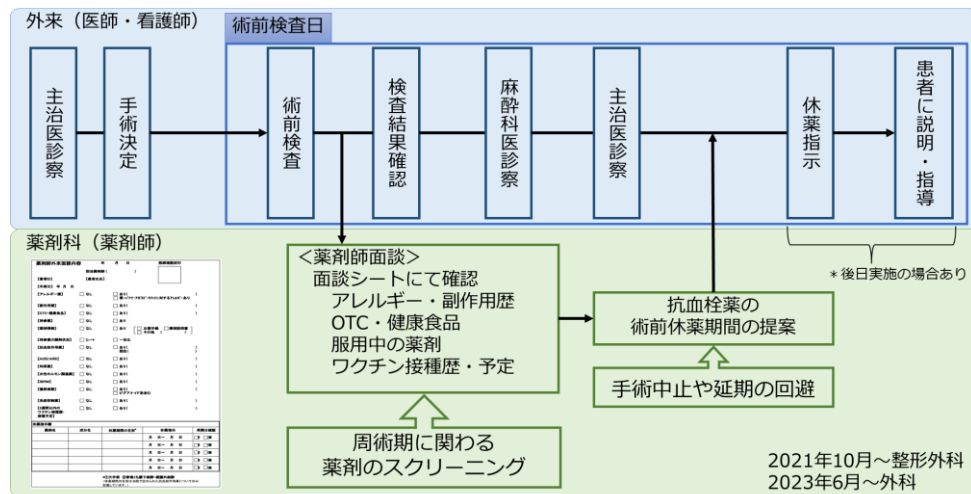


- 被曝防止：安全キャビネット、閉鎖式調製器具の導入、リスクの理解と技術の習得
- プロトコール事前登録制：添付文書・ガイドライン・論文等の根拠の提出
- 確実な支持療法：制吐剤などの支持療法も一括登録
- 投与量計算：体表面積や生理機能に応じた投与量の自動計算
- 副作用による減量・休薬の遵守：検査値の確認漏れによる過量投与防止
- 併用薬の確認：プロトコール変更による重複の回避



薬剤師外来

- 2021年より一部の診療科で開始し、現在はすべての診療科で行っている
- 手術で入院予定の患者に対し、外来診察室にて面談
- 薬歴や副作用・アレルギー歴の聴取
- 医師と共に、手術前後に休薬する薬剤の有無と、その休薬期間を決定
- 病棟担当薬剤師に情報提供



薬剤師外来面談内容 20 年 月 日 医師確認済印

【担当薬剤師】
【患者ID】
【手術日】 20 年 月 日 【患者氏名】

【アレルギー歴】 ☐ 無 ☐ 有 ()
薬・パナ・アサギ・キクイに対するアレルギーあり

【医薬品による副作用歴】 ☐ 無 ☐ 有 ()

【OTC・健康食品】 ☐ 無 ☐ 有 ()

【持参薬】 ☐ 無 ☐ 有

【薬剤情報】 ☐ 無 ☐ 有 ☐ お薬手帳 ☐ 薬剤説明書
☐ その他 ()

【持参薬の調剤状況】 ☐ PTP ☐ 一包化

【ACEI/ARB/ARNI】 ☐ 無 ☐ 有 ()

【利尿薬】 ☐ 無 ☐ 有 ()

【糖尿病薬】 ☐ 無 ☐ 有 ()
☐ ビグアナイド系含む

【免疫抑制薬】 ☐ 無 ☐ 有 ()

【2週間以内のワクチン接種歴・接種予定】 ☐ 無 ☐ 有 ()

☐ 休薬・再開指示はカルテに記載(以下記載不要)

抗血栓作用薬 ☐ 無 ☐ 有

薬剤名	分類	休薬指示	再開指示
抗凝固薬	抗凝固薬	☐ 休薬 (月 日 ~)	☐ 手術翌日より ☐ 月 日 ~
	抗血小板薬	☐ 継続	☐ 再開しない ☐ 未定
	抗血栓作用薬		
抗凝固薬	抗凝固薬	☐ 休薬 (月 日 ~)	☐ 手術翌日より ☐ 月 日 ~
	抗血小板薬	☐ 継続	☐ 再開しない ☐ 未定
	抗血栓作用薬		
抗凝固薬	抗凝固薬	☐ 休薬 (月 日 ~)	☐ 手術翌日より ☐ 月 日 ~
	抗血小板薬	☐ 継続	☐ 再開しない ☐ 未定
	抗血栓作用薬		

女性ホルモン関連薬 ☐ 無 ☐ 有

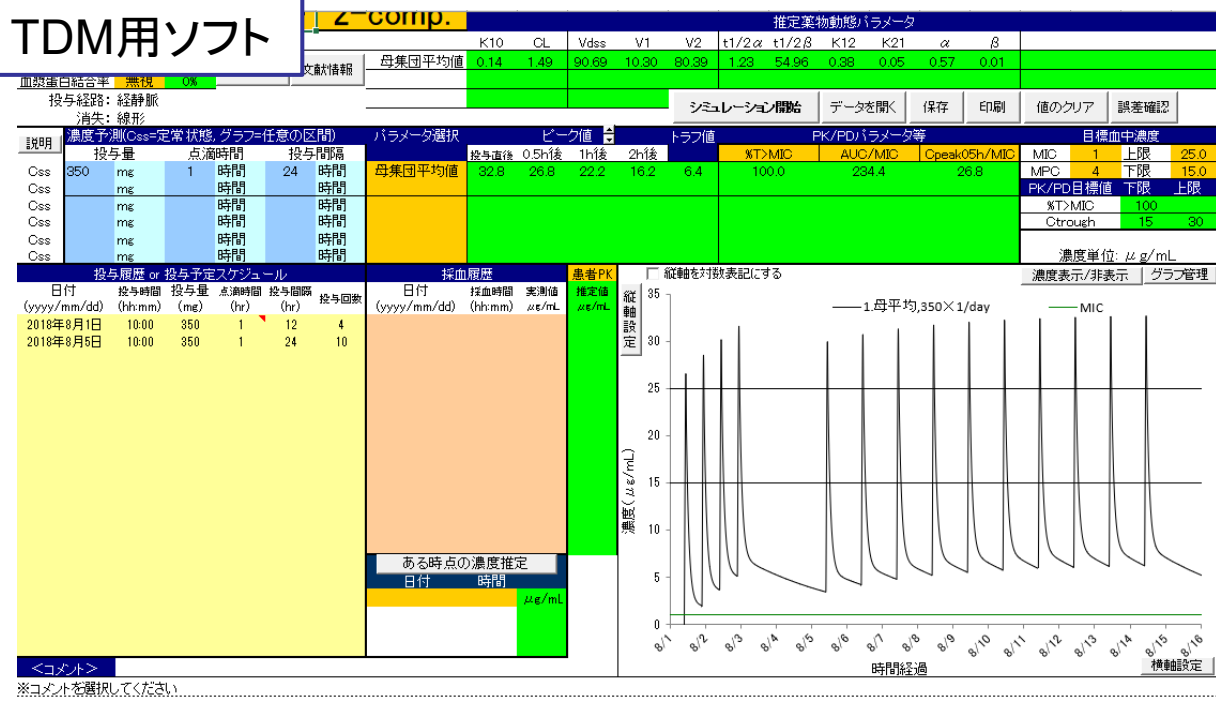
薬剤名	休薬指示	再開指示
	☐ 休薬 (月 日 ~)	☐ 手術翌日より ☐ 月 日 ~
	☐ 継続	☐ 再開しない ☐ 未定
	☐ 休薬 (月 日 ~)	☐ 手術翌日より ☐ 月 日 ~
	☐ 継続	☐ 再開しない ☐ 未定
	☐ 休薬 (月 日 ~)	☐ 手術翌日より ☐ 月 日 ~
	☐ 継続	☐ 再開しない ☐ 未定

備考

薬物血中濃度モニタリング(TDM)

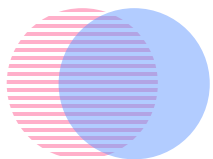
- 抗MRSA薬を中心に、抗不整脈薬や抗てんかん薬など様々な薬剤のTDMを実施している。
- 抗MRSA薬の初回投与時は全例に介入している。
- 投与量が変更された場合や、薬物相互作用が疑われる場合、定期的な測定が行われていない場合など、薬剤師による血中濃度測定の提案をしている。
- データを集計し、院内学会でも発表。

TDM用ソフト



当院におけるTDM業務の
現状と展望

朝日野総合病院 薬剤科



薬剤管理指導業務

➤ 服薬指導・支援

服用中の薬剤の説明や服薬状況の確認

➤ ポリファーマシーへの介入

薬剤総合評価調整加算

➤ 退院時指導

退院の際は、かかりつけの病院や薬局、施設等に対し情報提供書を作成し、必要な情報の共有を行っている

薬剤管理指導記録ソフト

99990041 テスト 患者 4 1 (テスト 041) 38歳 男

薬剤師 [] 依頼日 []年[]月[]日

区分 []

開始日 [2018年02月22日]

入院日 []年[]月[]日 退院日 []年[]月[]日

診療科 [内科] 主治医 []

病棟 [本館と病棟] 病室 [] 看護師 []

診断病名登録

病名	転帰	開始日	終了日

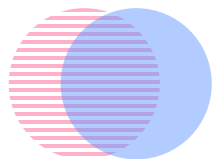
備考 []

更新日 2018年04月25日



当院におけるポリファーマシーの現状と
薬剤科の活動

朝日野総合病院
薬剤科

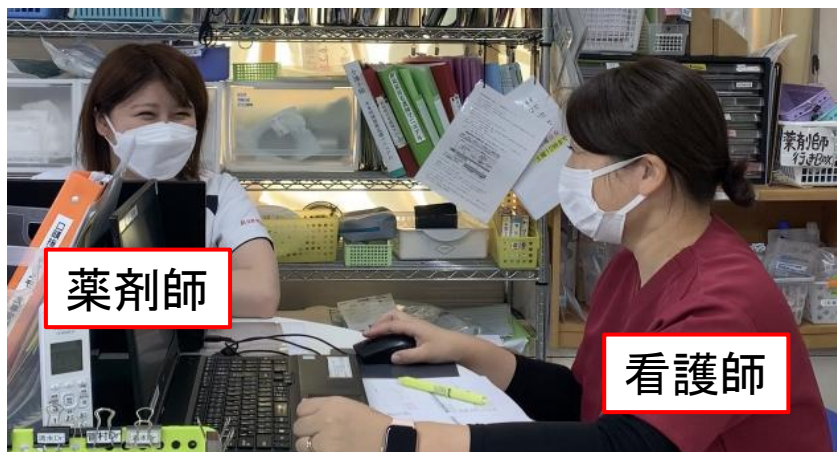


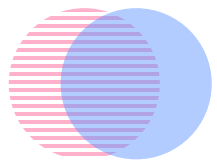
病棟薬剤業務

- 投薬・注射状況の把握
- 医薬品安全性情報等の把握
- 医療従事者からの相談応需
- 持参薬の確認および服薬計画提案
- 投与前の相互作用の確認
- ハイリスク薬の詳細な説明
- 流量または投与量の計算等の実施
- その他(TDM、無菌調製、PBPM)

病棟薬剤業務日誌管理ソフト

The screenshot displays the 'WardMeister' software interface. At the top, there are tabs for '帳票' (Forms), '患者一覧' (Patient List), '実績一覧' (Performance List), 'その他' (Others), '管理' (Management), and '一覧' (List). The main area shows a calendar for June 2022, with columns for days of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土). Each day's cell contains a grid of medication administration records, including drug names, dosages, and times. For example, on June 1st, there are records for '1' and '2' with dosages of 4.75 and 4.50 respectively. The interface also includes a 'ログインユーザ' (Login User) field and a 'ログアウト' (Logout) button.





チーム医療への参画

- 骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS)
- 栄養サポートチーム(NST)
- 転倒転落予防対策チーム
- 摂食嚥下サポートチーム(SST)
- 感染対策チーム(ICT)
- 抗菌薬適正使用サポートチーム(AST)
- せん妄対策チーム
- 褥瘡対策チーム
- 認知症ケアチーム
- 緩和ケアチーム
- 糖尿病友の会
- 委員会・部会
- 診療科回診

等への参加



薬剤師



OLS(骨粗鬆症リエゾンサービス)

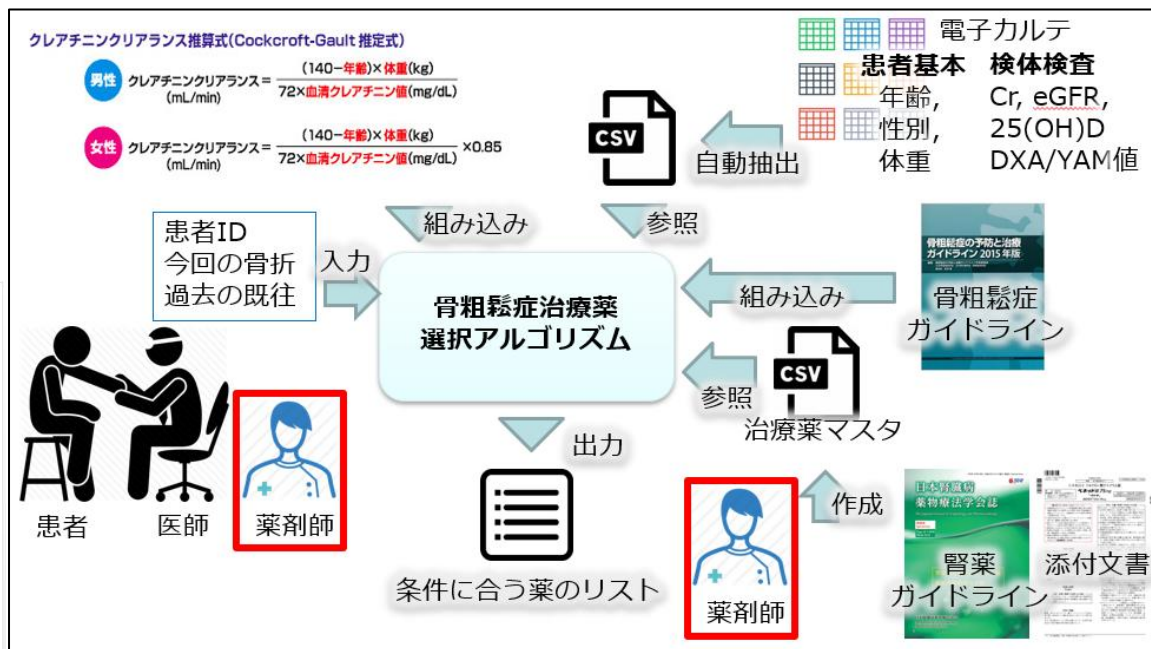
- OLSでは、骨折を予防するため、骨粗鬆症の治療率と治療継続率を向上させるようにサポートを行っている。
- 2022年度診療報酬改定にて、『二次性骨折予防継続管理料』が新設された。骨粗鬆症に関する評価及び治療等を実施することで算定できる。
- 薬剤科では、骨粗鬆症でありながら、その治療薬が処方されていない患者を抽出し、医師に処方提案をしている。治療薬が処方されたら、その服薬指導を実施している。

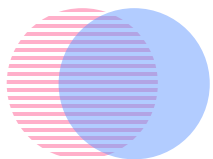
薬剤師

骨折患者および骨粗鬆症患者の自動抽出と、骨粗鬆症治療薬の選択アルゴリズムを用いた二次骨折予防への取り組み

1)朝日野総合病院薬剤科
2)朝日野総合病院整形外科

2019/10/11(金)





褥瘡対策チーム

- 2022年度診療報酬改定にて、(必要に応じて)薬剤師が褥瘡の薬学的管理について、診療計画書に記載することが求められるようになった。
- 病棟ごとに、新たに褥瘡が発生した患者の状況や、褥瘡のある患者の経過を報告し、多職種で共有している。
- 褥瘡の発症リスクに影響を与える可能性がある薬剤の使用や、薬剤滞留の問題の有無、今後の薬学的管理計画を記載している。

薬剤師にしかできない強力な武器

褥瘡の薬物療法のスペシャリストとして、創面や病態に応じた適切な治療薬の選択推進を行い、その治療薬の薬効が発揮される環境を整備する

褥瘡対策に関する診療計画書(2)				
患者番号	氏 名	性別	生年月日	年齢
薬学的管理に関する事項		☐ 対応の必要無し		
記載者				
褥瘡の発症リスクに影響を与える可能性がある薬剤の使用		☐ 無 ☐ 有		
すでに褥瘡を有する患者		☐ 無 ☐ 有		
薬剤滞留の問題		☐ 無 ☐ 有		

褥瘡の早期治療へ導くことができる

AST(抗菌薬適正使用サポートチーム)

- 初期選択抗菌薬が対象患者にとって適切かどうか。
- 薬剤の特性を熟知したうえで、患者個別の状態に応じた薬剤選択がなされているか。
- 細菌培養など適切な微生物検査がオーダーされているか。
- 微生物検査で原因菌や薬剤感受性が判明したら、できるだけ早期に標的治療(definitive therapy)への移行を考慮する。

一般細菌報告書

最終報告

病院名 朝日野会 朝日野総合病院

病棟科名 整形外科 外来

担当医 カルテNo

受付日 2021/02/08 患者名

採取日 2021/02/08

報告日 2021/02/10

検査材料 創部 性別 男性 年齢 89 才

その他のNo

顕微鏡検査 61 点

グラム陽性球菌 1+

白血球 1+

培養・同定検査 160 点

1 ●Staphylococcus aureus MRSA 2+

薬剤感受性検査

1菌

MP/PC >2 R

S/A * 8 R

T/P * 8 R

CEZ * 8 R

CAZ * 8 R

CTRX * 8 R

CFPM * 8 R

CFDN * 8 R

CDTR-PI * 2 R

CFPN-PI * 2 R

S/C * 16 R

CMZ * 4 R

FMOX * 4 R

IPM/CS * 4 R

MEPM * 4 R

DRPM * 4 R

MINO * 4 R

CM * 4 R

TOB * 4 R

AMK * 4 R

ABK * 4 R

ISP * 4 R

EM * 4 R

CAM * 4 R

RXM * 4 R

AZM * 4 R

LVFX * 4 R

TFLX * 4 R

PZFX * 4 R

MFLX * 4 R

GRNX * 4 R

VCM * 4 R

TEIC * 8 R

LZD * 8 R

CLDM * 5 R

FOM * 64 R

ST * 2 R

Antimicrobial Stewardship And Heal Infections PROJECT

サポート履歴 サポート患者一覧に戻る 時刻更新 2022/06/14 印刷

1 0

患者ID

患者名

生年月日

年齢

身長

体重

外来病棟

診療科

主治医

指示医

担当者

終了

適正使用上の課題

☐ フォーカス不明

☐ 培養未提出

☐ 無菌検体陽性

☐ 人工物感染

☐ 循環動態不安定

☐ 極肝腎機能低下

☐ 免疫抑制状態

☐ 人工透析中

☐ 課題08

☐ 課題10

既往:概要

COPD-IV期、右結核性気胸手術、症候性でんかん、肺7スバルギルス症、CKD、CHF2021/11/30発症

2020/12/24から当院入院中(それ以前にも当院入院歴あり)

2022/5/30

昨夜から悪寒発熱、今朝発熱、VAP再発。

過去の喀痰培養結果からCAZ、肺炎球菌もカバーするため、CLDMも追加で治療開始。

6/2

5/30の喀痰培養結果からMINO追加

腎機能悪化 → 補液調整、Alb div

6/13

炎症反応悪化。→ 原因は尿路感染症が疑われる。尿からは過去にESBL菌認められているため、抗生剤をCAZからMEPIに変更する。

デバイス・人工物

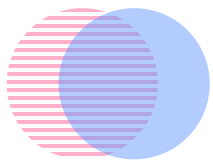
培養以外の検査

CRP 9.22(5/30)→7.552(6/3)→2.510(6/10)→4.037(6/13)

WBC 11.7(5/30)→11.9(6/3)→11.7(6/10)→9.8(6/13)

開始日	終了日	日数	抗微生物薬
2022/06/13		4	☐ (特)ロベネム点滴静注用0.5g
2022/06/02		15	☐ ミノサイクリン点滴静注用100mg
2022/05/30	2022/06/13	15	☐ ダラシシ注射液600mg
2022/05/30	2022/06/12	14	☐ セフトアジム静注用1g
2022/04/25		8	☒ (特)ハベカシ注射液100mg
2022/04/24	2022/05/02	9	☐ セフトアジム静注用1g
2022/03/25	2022/03/31	7	☒ (特)ロベネム点滴静注用0.5g

検体採取日	培養検体	微生物
2022/05/30	痰	緑膿菌、アシネバクター、MRSA、プロテウス
2022/04/25	痰	緑膿菌1+, Burkholderia cepacia complex1+
2022/03/23	痰	Haemophilus influenzae BLNAR菌、緑膿菌
2022/03/23	尿	Klebsiella pneumoniae ESBL菌、Coryneb
2021/12/03	血液	2つ(-)
2021/12/02	血液	1つ(-)



医薬品情報管理(DI)

医薬品情報管理室(DI室)では、医薬品が適正かつ安全に使われるように医薬品情報(DI)の収集・管理・提供をしている。

- 厚生労働省や製薬会社、医薬品医療機器総合機構などから発信される医薬品の情報や資料を収集・整理・提供する。
- 重要度、緊急度の高い情報は、特に迅速に提供する。
- 医師や看護師、薬剤師、他の医療スタッフからの問い合わせに応需する。
- すべての医療スタッフが必要な時に必要な情報を得ることができるよう、院内でのみ閲覧可能な薬剤科ホームページに様々な医薬品情報を掲載する。

薬剤科ホームページ

朝日野総合病院 薬剤科

*** 01情報 ***

- ※ 医薬品集
- ※ 利用関係情報(新着記事)
- ※ DIニュース
- ※ 登録リスト
- ※ お知らせ

*** 安全情報 ***

- ※ 医薬品・医療機器安全情報
- ※ Drug Safety Update
- ※ 注意喚起
- ※ その他

*** マニュアル規定 ***

- ※ 医薬品取扱手順書
- ※ オープニング
- ※ 販賣の取り扱い

*** 2022年 ***

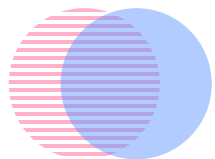
- DIニュース2022年5月号
- DIニュース2022年4月号
- DIニュース2022年3月号
- DIニュース2022年2月号
- DIニュース2022年1月号

*** 2021年 ***

- DIニュース2021年12月号
- DIニュース2021年11月号
- DIニュース2021年10月号

DIニュース

COVID-19患者への治療薬の特徴					
	プロ* ヌルマテビル	パキロビッド* ニルマテビル・リトナビル	ペクルリー* シムデシビル	ゼビディ* ソトロビマブ	ロナプリーブ* カシリスマブ・イムデビマブ
2022/2/21 朝日野総合病院薬剤科					
外観					
製造会社	MSD	ファイザー	ギリアド	GSK	中外製薬
分類	抗ウイルス剤	抗ウイルス剤	抗ウイルス剤	中和抗体	中和抗体
当院採用	あり	なし	あり	あり	なし
投与経路	内服	内服	点滴静注	点滴静注	点滴静注
投与期間	5日間	5日間	5~10日間	1回	1回
治療対象患者(添付文書)	重症度の高い患者	重症度の低い患者	肺炎を有する患者	肺炎を有しない患者	肺炎を有しない患者
治療対象患者(診療の手引き)	軽症~中等症 I	軽症~中等症 I	軽症~重症	軽症~中等症 I	軽症~中等症 I
発症後、使用までの推奨日数	5日以内	5日以内	7日以内	7日以内	7日以内
対象年齢	18歳以上	成人 12歳以上かつ体重40kg以上	成人 12歳以上かつ体重40kg以上	成人 12歳以上かつ体重40kg以上	成人 12歳以上かつ体重40kg以上
腎障害時の投与可否	可	eGFR<30mL/min/1.73m ² には投与を推奨しない	透析患者の使用経験あり	可	可
腎障害時の投与量調節	不要	必要 多数あり、要確認	不要	不要	不要
併用薬品	なし	なし	なし	なし	なし
妊婦/授乳婦	禁忌/有益性投与	有益性投与/有益性投与	有益性投与/有益性投与	有益性投与/有益性投与	有益性投与/有益性投与
オミクロン株への有効性	○	○	○	○	x
主な副作用	頭痛、悪心、下痢	高血圧、筋肉痛、下痢、味覚障害	Infusion reaction、肝・腎障害、発熱	Infusion reaction	Infusion reaction
一般流通(薬価収載)	なし	なし	あり(63,342円/V)	なし	なし
同意書の取得	必要	必要	必要	必要	必要
外来での治療	可	可	可	可	可
備考	外来患者には既処方入院患者は当院発注	当院では取り扱っていない	軽症患者への使用は適外	慢性疾患のために加療を投与されている患者には投与可	オミクロン株に効果不十分であるため、当院は使用しない



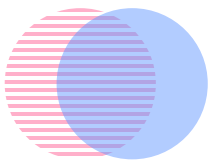
救急・手術棟



- 2021年5月、新たな救急・手術棟が竣工
- 救急外来では、1年365日24時間体制で急患を診察
- ヘリポートを設け、災害時にも備えている

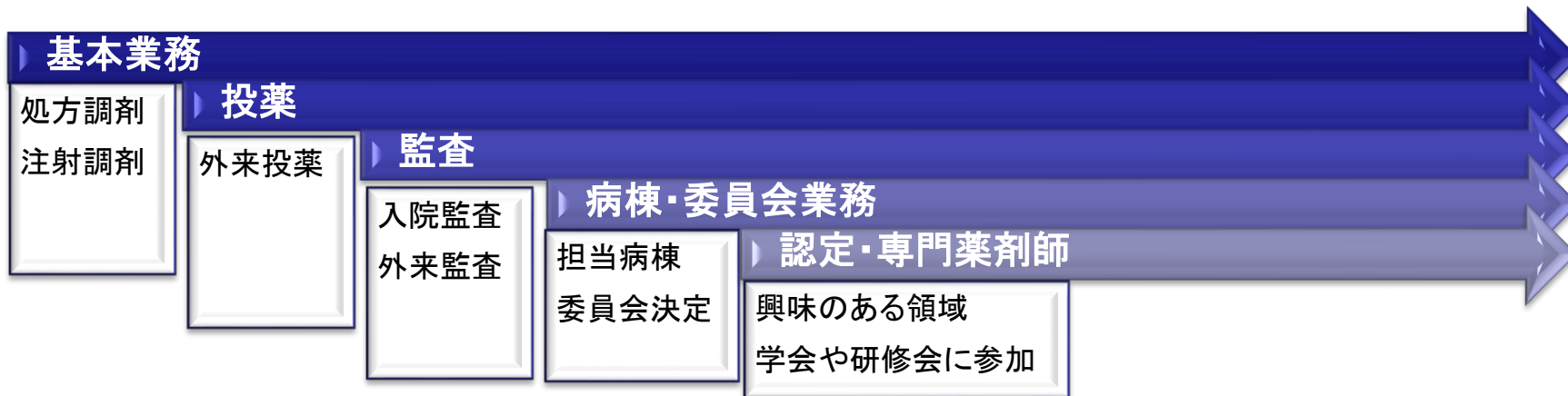
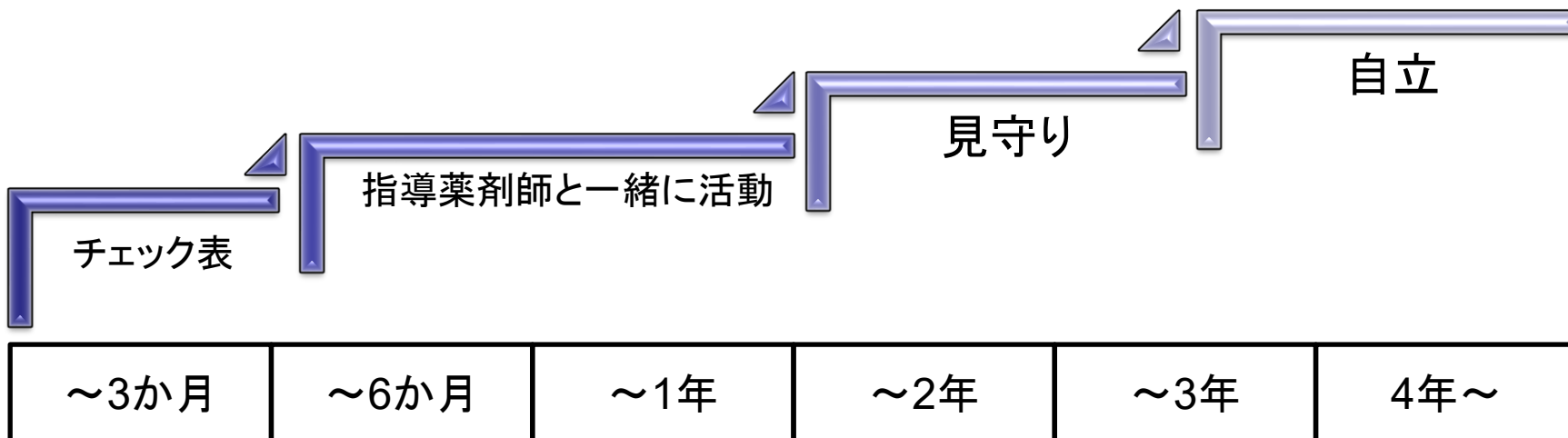
救急外来での薬剤師の役割

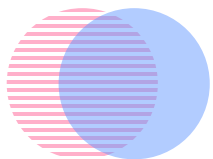
- | | |
|--------|----------------|
| ・薬品管理 | ・医薬品情報管理 |
| ・処方監査 | ・配合変化・投与ルート管理 |
| ・持参薬鑑別 | ・TDM、中毒への対応 など |



薬剤師の教育と業務の習得

新人薬剤師の教育スケジュールの一例

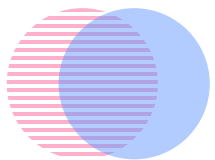




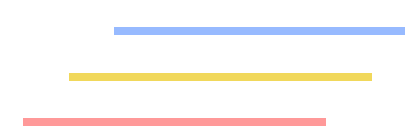
専門性の向上



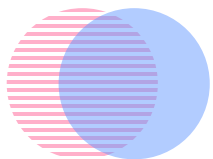
資格	認定機関	人数
病院薬学認定薬剤師	日本病院薬剤師会	4名
感染制御認定薬剤師	日本病院薬剤師会	1名
心不全療養指導士	日本循環器学会	1名
研修認定薬剤師	日本薬剤師研修センター	2名
認定実務実習指導薬剤師	日本薬剤師研修センター	3名
骨粗鬆症マネージャー	日本骨粗鬆症学会	1名
周術期管理チーム認定薬剤師	日本麻酔科学会	1名
術後疼痛管理研修修了薬剤師	日本麻酔科学会	1名
麻薬教育認定薬剤師	日本緩和医療薬学会	1名



専門性の向上



資格	認定機関	人数
腎臓病療養指導士	日本腎臓病協会	2名
抗菌化学療法認定薬剤師	日本化学療法学会	2名
NST専門療法士	日本臨床栄養代謝学会	2名
漢方薬・生薬認定薬剤師	日本薬剤師研修センター	1名
Sports Pharmacist	日本スポーツフェアネス推進機構	1名
肝疾患コーディネーター	熊本大学医学部付属病院	5名
災害支援薬剤師	熊本県薬剤師会	1名
災害薬事コーディネーター	熊本県薬剤師会	1名
熊本地域糖尿病療養指導士	熊本地域糖尿病療養指導士認定委員会	6名



薬剤科研修会

➤ 抄読会

第1・3・5(水) 8:05-8:25

1人1テーマで文献・雑誌を紹介

抄読会

JAPEP presents 多職種連携でみる

誤嚥性肺炎の 治療と薬剤管理

誤嚥性肺炎の診断と嚥下障害の原因疾患の検索
順天堂大学医学部総合診療科学講座 飯田 圭祐、宮上 孝樹

誤嚥性肺炎と薬剤調整
練馬光が丘病院薬剤室 榎本 貴一

誤嚥性肺炎のリハビリテーション
医療法人秋葉会 亀田ファミリークリニック岡山家庭診療科 石田 幸吾、横瀬 万美子

➤ 症例検討会

第2・4(水) 14:10-15:00

担当した患者1名を取り上げる

症例検討会

当院における
ミタゾラムの使用状況と
投与量に影響を与える因子
についての検討

朝日野総合病院技術部薬剤科

➤ ステップアップ研修会

第2・4(木) 17:45-18:45

薬剤師歴5年以上または
専門・認定取得薬剤師が講師を務める

ステップアップ研修会

➤ 新薬説明会

月1回 14:00~15:00

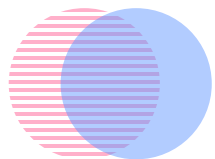
製薬企業に依頼し定期的開催

➤ 院外研修会、学会参加への支援

学会参加費や年会費、交通費・宿泊費等の補助制度あり

薬物相互作用
～ADMEから考えよう～

朝日野総合病院 薬剤科



学会発表・地域への貢献

《学会・研修会発表》

- 日本医療マネジメント学会 第26回 熊本支部学術集会 2024年3月
- 第33回 日本医療薬学会年会 2023年11月
- 第1回 熊本県病院薬剤師会精神科領域研修会

一次骨折予防を目指した前立腺癌患者
を対象とした骨粗鬆症薬使用状況調査

医薬品流通制限下での持参薬有効活用と
病棟薬剤業務の見直し

学会参加報告および当院での取り組み

《職員研修・院内出前講座》

- 糖尿病患者会(HbA1cと合併症について等) 2回
- 他部署研修会(医療麻薬の適正使用等) 5回
- 全体職員研修(院内感染対策研修会等) 9回



2023年に仙台で行われた医療薬学会にて

《講師・学校薬剤師活動》

- 2023年度 熊本県・菊池郡市薬剤師会 無菌調製研修会 4回
- 菊池郡市薬剤師会研修会 2024年1月
- 薬物乱用防止教室 大津南小学校 2024年1月
- 第37回熊本県病院薬剤師会新採用薬剤師教育研修会 2023年12月
- チーム医療を考える～骨粗鬆症診療×疼痛診療～ 2023年8月

薬学実務実習生の受け入れ

2024年5月20日～8月4日 1名(長崎国際大学薬学部)

2024年8月19日～11月1日 4名(崇城大学薬学部)

2024年11月11日～12月20日 2名(熊本大学薬学部)

2025年度 2期、3期、4期にて受け入れ予定

実務実習スケジュール

病院薬剤師業務全般の実習

- ・調剤業務
- ・8疾患
- ・病棟業務
- ・チーム医療 など

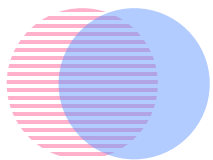
他部署とも連携して行っています



	日	火	水	木	金
第1週	11/11 午前 午後	11/12 午前 午後	11/13 午前 午後	11/14 午前 午後	11/15 午前 午後
	オリエンテーション (横) 8疾患確認問題 (自習)	電子カルテ 確認 8疾患 脳血管疾患 確認・藤田	8疾患 精神疾患 幸野	8疾患 高血圧 中川	8疾患 心疾患 内田
第2週	11/18 午前 午後	11/19 午前 午後	11/20 午前 午後	11/21 午前 午後	11/22 午前 午後
	調剤(芳徳)注射(宮本) ベットのサイド管理(永野)	ベットのサイド 本3	ベットのサイド 本2	ベットのサイド 北3	ベットのサイド 北2
第3週	11/25 午前 午後	11/26 午前 午後	11/27 午前 午後	11/28 午前 午後	11/29 午前 午後
	8疾患 糖尿病 品・泉	8疾患 悪性腫瘍 吉田	8疾患 免疫疾患 宮本	8疾患 感染症 藤田・中川	錠剤鑑別 (永野) TDM・注射ルート (藤井)
第4週	12/2 午前 午後	12/3 午前 午後	12/4 午前 午後	12/5 午前 午後	12/6 午前 午後
	ベットのサイド 北8	ベットのサイド 北8・820	ベットのサイド 北5	ベットのサイド 本3	嚥下サポートチーム 芳徳
第5週	12/9 午前 午後	12/10 午前 午後	12/11 午前 午後	12/12 午前 午後	12/13 午前 午後
	簡易経腸 (福田の) 骨粗鬆症OLS (北庭)	経腸栄養 (牧瀬) 注射剤無菌調製 (宮本)	DI作成 福田	認定薬剤師 (横) 腎機能 (北庭・芳徳)	DI作成 福田
第6週	12/16 午前 午後	12/17 午前 午後	12/18 午前 午後	12/19 午前 午後	12/20 午前 午後
	ベットのサイド 北2	無菌調製(担当者) AST(福田)	ベットのサイド 北8・820	ベットのサイド 本2	ベットのサイド 北8
第7週	12/23 午前 午後	12/24 午前 午後	12/25 午前 午後	12/26 午前 午後	12/27 午前 午後
	DI作成 福田	DI作成 福田	8:00～DI発表 本3	呼吸器・吸入指導 (渡邊) 薬剤師外来 (牧瀬)	緩和 (永野) 治療 (横)
第8週	12/30 午前 午後	12/31 午前 午後	1/1 午前 午後	1/2 午前 午後	1/3 午前 午後
	ベットのサイド 北3	無菌調製(担当者) AST(福田)	透析・北5 (藤井)	ベットのサイド 北2	認知症・せん妄 (幸野・中川)
第9週	1/6 午前 午後	1/7 午前 午後	1/8 午前 午後	1/9 午前 午後	1/10 午前 午後
	地域連携・学校薬剤師 (横) 自己注射指導 (藤田)	医薬品供給管理・災害医療 (横) 麻薬管理 (藤田)	栄養管理・NST (永江) スポーツファーマシスト (吉田)	外来患者対応 (福田か) 外来患者対応英語 (品)	血液製剤管理 (藤田) 院内調剤 (藤井・幸野)
第10週	1/13 午前 午後	1/14 午前 午後	1/15 午前 午後	1/16 午前 午後	1/17 午前 午後
	プレゼン準備 IOT (藤田)	無菌調製(担当者) AST(福田)	プレゼン準備	プレゼン準備	プレゼン準備
第11週	1/20 午前 午後	1/21 午前 午後	1/22 午前 午後	1/23 午前 午後	1/24 午前 午後
	プレゼン準備 N8	医療安全 (横)	ファーマシーテクニシャン 配薬カートセット等 抗がん剤調製 (永江・藤田)	中毒 (永江) リスクマネジメント (藤田)	まとめ (横・福田)
第12週	1/27 午前 午後	1/28 午前 午後	1/29 午前 午後	1/30 午前 午後	1/31 午前 午後
	プレゼン準備	プレゼン① スライド調製・ 質問された内容 についてまとめ	プレゼン② スライド調製・ 質問された内容 についてまとめ	褥瘡 (藤井・藤田) 消化器・肝疾患 (芳徳)	国家試験対策 (中川)



実習生



薬剤科 集合写真



院内の見学は随時可能です。どうぞお気軽にご連絡ください！

TEL. [096-344-3000](tel:096-344-3000) E-Mail. js@asahino.or.jp

連絡先：総務課／佐々木・村田



薬剤科求人HP